

国語科学習指導計画

広島県立福山誠之館高等学校 上杉 勲

- 学年・科目 第1学年 「国語総合」
- 単元名 「情報機器を活用して要約しよう」
『ネットが崩す公私の境』 黒崎政男 [高等学校国語総合 現代文・表現編(三省堂)]
- 単元の目標
 - ・情報機器の活用により，積極的かつ意欲的に要約に取り組む。(関心・意欲・態度)
 - ・要約の方法を理解する。(読む能力)
 - ・適切に要約する。(読む能力)
- 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 読む能力
積極的かつ意欲的に要約に取り組もうとしている。	要約の方法を理解している。 適切に要約している。

- 指導と評価の計画(全4時間)

主な学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
(1時間目の目標) 要約の方法をきちんと理解する。			
・コンピュータ及びワープロソフトの操作の確認をする。 ・独力で第1段落を要約し，ファイルに保存する。 ・要約の方法を知り，実際の第1段落の要約の過程をディスプレイ上で見て理解する。 要約の方法 要旨を発見する。 要旨につながる中心となる語や文をさがす。 文をつなぐ。 推敲する。	・本文データファイルを呼び出し，フロッピーに保存させる。 ・自分の要約の方法とどう違うのか，また，自分はどの点ができているか，どの点ができいていなかったのかを要約の過程を提示することで，きちんと理解させる。	・要約の方法を正しく記入している。(イ) ・自分と教師の要約の方法の違いを理解している。(イ)	ファイル 振り返りシート

（２時間目の目標） 本文第２・３段落の要約を他の生徒の要約と比較することにより，どのようにすればより良い要約ができるのかが分かる。			
・要約の方法を再確認する。 ・独力で第２段落を要約し，ファイルに保存する。 ・生徒の要約例（良い例・早くできた生徒の例など）を取り上げて活用する。 ・独力で第３段落を要約し，ファイルに保存する。 ・生徒の要約例（良い例・早くできた生徒の例など）を取り上げて活用する。	・要約の具体的な方法について再確認させておく。 ・自分の要約と他の例を比較して推敲の手がかりとさせる。 ・自分の要約と他の例を比較して推敲の手がかりとさせる。	・積極的かつ意欲的に要約に取り組もうとしている。（ア） ・自分の要約と他の例を比較し，どのようにすればより良い要約ができるのかを分かっている。（イ）	観察 ファイル 振り返りシート
（３時間目の目標） 本文第４段落の要約で，お互いの要約を相互批評することにより，どのようにすればより良い要約になるのかが分かる。			
・独力で第４段落を要約し，ファイルに保存する。 ・生徒同士でファイルを共有し，「コメント機能」を使って，相互批評する。 ・自分の要約に対する「コメント」を読み，再度推敲する。	・４人１組でファイルを共有して，それを比較・検討させる。ワープロソフトWordの「コメント機能」を用いて評価コメントを記入し，相互批評させる。	・積極的かつ意欲的に要約に取り組もうとしている。（ア） ・他者に対して良い点と改善点などのコメントを的確に記入している。（イ）	観察 ファイル 振り返りシート
（４時間目の目標） 筆者の主張をきちんと把握し，全文要約を完成することができる。			
・ワープロソフトの「要約の作成」機能を使ってみる。 ・全文ファイルを基に全文を200字程度に要約し，ファイルに保存する。 ・「教師による模範要約例」と自分の要約を比較・検討し，要約の完成度をさらに高める。	・ワープロソフトの「要約の作成」機能の説明をし，「ワープロ版要約」と自分の要約を比較・検討させる。	・積極的かつ意欲的に要約に取り組もうとしている。（ア） ・書き手の考えをきちんと把握し，時間内に全文要約を完成している。（イ）	観察 ファイル 振り返りシート